科目区分	専門教育科目	授業科目名	オフィス情報演習	科目コード	24L108	担当者	濵口　なぎさ	担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科　ビジネス・医療秘書コース	配当年次	2年次	開講学期	後期	単位数	1	必修・選択の別	必修
免許・資格要件	医療管理秘書士／診療実務士必修								
授業形態	演習	履修条件				教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連					科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	ワープロ、表計算、プレゼンテーション、データベース等、オフィス用アプリケーションソフトの活用方法を学ぶ。	課題等への対応（フィードバックの方法等）	発表については相互評価を行い、学生・教員間で意見を交換する。卒業文集については、完成したものを全員に配布する。
授業の方法	1人1台のパソコンを使用し、演習形式で実施する。また、課題によってはグループで活動し、その結果を発表する。	アクティブ・ラーニングの実施方法	全4回のグループワークとグループ発表

回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	ガイダンス、素材の作成	授業のポイント整理
第2回	素材の作成、画像編集	素材の作成と
第3回	名刺の作成	オリジナル作品作成
第4回	オリジナルグッズ、ノベルティの作成	オリジナル作品作成
第5回	オリジナルグッズ、ノベルティの作成	オリジナル作品作成
第6回	企画立案と予算編成	企画立案のための情報収集
第7回	企画立案と予算編成	予算編成のための情報収集
第8回	企画広報用ポスター作製・プレゼン発表準備	ポスター作製、プレゼン資料の作成
第9回	企画内容のプレゼンテーション	プレゼンテーションの準備
第10回	誌面編集の基礎	誌面編集のポイント整理
第11回	取材計画表の作成	参考とする誌面調査、対象者の取材活動
第12回	取材計画に基づく取材と誌面レイアウトの検討	取材と記事の作成
第13回	取材記事作成と誌面編集	取材と記事の作成
第14回	取材記事作成と誌面編集	誌面編集
第15回	取材記事作成と誌面編集	誌面編集

事前・事後学修時間（分／授業1回）	45分／授業1回

教科書［書名／著者名／出版社］	必要に応じてプリントを配布	受講生へのメッセージ	他の演習系の授業で習ったことが基礎となるので、特に1年次の授業内容をしっかりと理解し、技術を身につけておくよう努力してください。
参考書［書名／著者名／出版社］	なし		

評価基準																			
		学修成果の大分類	学修成果の中分類［10の力］	学修成果の配点比率（%）	評価方法の配点比率（%）						学修成果の小分類			尺度				
					定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法／評価指標	レベル５（Ｓ：100～90%）	レベル４（Ａ：89～80%）	レベル３（Ｂ：79～70%）	レベル２（Ｃ：69～60%）	レベル１（Ｆ：59%以下）
観点	尽心	態度・志向	①学習意欲	20			10		10		提出日を守り、欠席後のフォローができる。疑問があれば積極的に質問できる	真面目さ、自己管理力	提出期限の厳守、授業や課題への取り組み	全ての課題を期日までに提出した。自主的に欠席後のフォローができる	全ての課題を提出したが、期日に遅れた課題が10%程度あり。自主的に欠席後のフォローができる	全ての課題を提出したが、期日に遅れた課題が20%程度あり。自主的の欠席後のフォローが遅れた	全ての課題を提出したが、期日に遅れた課題が30%程度あり。自主的に欠席後のフォローができない	課題を提出しない。欠席後のフォローを行わない
			②規律性															
	創造	知識・技能	③知識															
			④技能															
		思考・判断	⑤情報活用能力	10			10				ドキュメント作成に必要なアプリケーションを適切に選び、活用することができる	情報機器操作スキル	提出物の内容	提出物内容の正確性が90%以上	提出物内容の正確性が80%～89%	提出物内容の正確性が70%～79%	提出物内容の正確性が60%～69%	提出物内容の正確性が59%以下
			⑥課題解決力															
		表現	⑦言語活用能力															
			⑧コミュニケーション力	60			40	20			自分の考えを論理的にまとめ、他者に伝わるよう表現することができる	論理的表現力、プレゼンテーション力	提出物の内容、プレゼンテーション	ドキュメント作成に必要な知識と技能を十分に有し、他者に説明できる	ドキュメント作成に必要な知識と技能をある程度有し、他者に説明できる	ドキュメント作成に必要な知識と技能を有しており、他者に説明できる	ドキュメント作成に必要な知識と技能をある程度有しており、他者に説明できる	ドキュメント作成に必要な知識と技能が不十分であり、他者に説明できない
	実践	行動・応用	⑨主体性															
			⑩協働性	10				10			グループ内で自分の役割を認識し、協力して課題解決を図ることができる	チームワーク、他者理解	グループ課題への取り組み	グループ内で積極的に自分の役割を果たし、他者にも働きかけることができる	グループ内での自分の役割を果たすよう努め、他者と協力することができる	グループ内での自分の役割を認識し、他者と協力することができる	グループ内での自分の役割を認識しているが、他者との協力が十分ではない	他者任せで、自分の役割を果たせない
合計				100			60	30	10									